

基本目標ごとの進捗状況

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標1 生涯現役社会づくりの推進 いきいきプラン21 P38～							
(1) 高齢者の地域、ボランティア活動への参加促進事業							
介護支援ボランティア 登録者数(1号・2号)	175人	157人	123人	120人	196人	250人	270人
介護支援ボランティア 活動実人数(1号・2号)	38人	56人	18人	15人	60人	60人	60人
(2) 高齢者の活動拠点の確保・生きがいづくり推進事業							
生きがい健康づくり推進事業 参加者数	354人	423人	568人	675人	670人	670人	670人
進捗状況 等	○介護支援ボランティアについて 令和3年度に活動の場の拡充を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で活動ができなくなり、登録者、活動者ともに減少が続いていました。また、5類移行後も活動者の高齢化による登録の終了、新規登録者の増加が伸びていないといった課題が出てきており、事業のあり方について、検討が必要な状況となっています。 ○生きがい健康づくり推進事業について 新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度以降、老人クラブ大会、グラウンドゴルフ大会、はつらつシニアスポーツ大会が再開されています。今後も活動が継続していけるよう支援していきます。						

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標2 高齢になっても住みよい地域づくり いきいきプラン21 P41～							
(1) 地域包括支援センター運営事業							
総合相談延べ件数	2,518件	2,619件	2,905件	2,410件	2,650件	2,670件	2,680件
ケアマネジャー連絡会の 市内の事業所参加率	70.6%	66.7%	62.2%	66.3%	70%	72%	75%
介護予防のための地域ケア 個別会議取扱事例件数	106件	91件	78件	60件	70件	80件	90件
(2) 在宅医療・介護連携推進事業							
多職種連携研修会 参加延べ人数	216人	174人	250人	225人	250人	300人	300人
市民への普及啓発事業 延べ参加人数	0人	161人	144人	212人	170人	180人	190人
(3) 生活支援サービスの体制整備事業							
第二層協議体設置数	8か所	9か所	9か所	9か所	11か所	11か所	11か所
(4) 権利擁護推進事業							
成年後見利用促進協議会 開催回数	— 回	3回	1回	2回	2回	2回	2回
虐待防止協議会開催回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
(5) 高齢者の居住、生活環境の整備事業							
安心相談ナースホン 利用者数	322人	340人	375人	401人	414人	441人	454人
家族介護支援事業参加者数	17人	21人	52人	50人	60人	60人	60人

進捗状況 等

○地域包括支援センター運営事業について
高齢者が地域で安心して生活を継続できるよう、高齢者に対する様々な相談を受け、適切なサービスに繋ぐなど支援を行いました。総合相談件数は若干減少の見込みとなっています。今後も、地域の関係機関と連携し、効果的な相談支援機能を担うとともに、地域包括支援センターの周知に取り組み、相談体制の強化に努めます。ケアマネジャー連絡会の市内事業所参加率は、令和5年度より増加し、概ね計画とおりとなっています。

○介護予防のための地域ケア個別会議について
会議はWEBで開催しています。介護予防・自立支援に資するケアマネジメントに繋がるよう、多職種で課題や解決策について検討しました。取扱事例件数については、1事例当たりの時間の関係などでやや計画を下回っています。

○在宅医療・介護連携推進事業について
多職種連携研修会はWEBで開催し、参加延べ人数はやや計画値を下回ったものの、研修会では、本市のめざすべき姿を関係者で共有するとともに、意思決定支援やACP（アドバンス・ケア・プランニング）に向けたエンディングノートについて多職種で意見交換などを行い、連携強化に取り組み、山陽小野田市版のエンディングカードを作成しました。
また、在宅医療・介護連携推進協議会では、事業の進捗状況についての報告や意見交換などを通じて、医療・介護の関係者間で、取り組みの共有を行っています。市民を対象とした普及啓発事業においては、普及啓発イベントに計画値を上回る参加をいただきました。

進捗状況 等	○生活支援サービスの体制整備事業について 令和５年度末時点で、第二層協議体が９か所、第三層での有償ボランティアは８か所設置されています。 また、昨年９月末に市内小学校区を単位として地区運営協議会（ＲＭＯ）が設立されました。第二層協議体と地区運営協議会の役割は重複する点が多いため、今後は地区運営協議会と連携をとり、事業を進めていく必要があります。 ○権利擁護推進事業について 高齢福祉課に設置している成年後見センターを中心とした、関係機関との連携・ネットワーク構築のほか、高齢者虐待防止に向けた体制整備に取り組みました。成年後見制度利用促進協議会及び虐待防止協議会は計画とおりの開催となっています。また、成年後見制度の申立て支援や報酬費用の助成なども行っています。今後も、高齢者虐待防止に努めるとともに、関係者と連携し制度の利用が必要な方が安心して利用できるよう取り組んでいきます。 ○安心相談ナースホンについて 令和６年度の利用者数は、計画値よりやや下回る見込みですが、毎年度増加傾向にあります。今後も設置を希望される方に適切に制度をお知らせできるよう、民生委員等関係者と連携を図るとともに、様々な機会を通じて制度の周知を図っていきます。 ○家族介護支援事業について 令和６年度の参加者数は、計画値より下回る見込みで、昨年度と同程度になる見込みです。令和６年度は１０月に介護者同士の交流会を、２月に介護方法や介護に関する教室を実施します。今後も在宅で家族を介護する方の支援に繋がるよう、ニーズにあった事業内容に改善していくとともに、ケアマネジャー等に事業を周知し、参加者の増加に努めていきます。
--------	---

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標3 介護予防の推進 いきいきプラン21 P51～							
(1) 高齢者の介護予防事業							
あたまの健康チェック受検者数	192人	209人	188人	256人	250人	250人	250人
基本チェックリスト実施人数	497人	776人	540人	600人	800人	900人	900人
住民運営通いの場の数	90か所	88か所	90か所	89か所	100か所	121か所	121か所
住民運営通いの場参加人数	1,132人	1,056人	1,060人	1,060人	1,110人	1,120人	1,130人
介護予防応援隊登録者数	141人	164人	171人	176人	200人	230人	240人
介護予防事業等への 専門職の派遣人数	25人	33人	41人	34人	37人	37人	37人
(2) 介護予防・日常生活支援総合事業							
訪問型サービス(第一号訪問事業)							
予防給付型 (訪問介護相当サービス)	112件	109件	124件	127件	140件	143件	146件
短期集中型 (訪問介護相当サービス)	0件	5件	3件	2件	18件	18件	18件
通所型サービス(第一号通所事業)							
予防給付型 (通所介護相当サービス)	321件	326件	370件	409件	393件	404件	417件
生活維持型及び短時間型 (通所型サービスA)	104件	100件	104件	101件	114件	116件	118件
介護予防ケアマネジメント(第一号介護予防支援事業)							
介護予防ケアマネジメントの 延べ利用人数	323人	325人	359人	375人	360人	362人	365人
進捗状況 等	○高齢者の介護予防事業について あたまの健康チェック以外は計画値を下回る見込みです。高齢者の介護予防に対するニーズが多様化しており、住民運営通いの場になじまない方もでてきています。このような現状に合った介護予防について検討していく必要があります。 ○総合事業のサービス給付について 訪問型サービスは、計画値を下回っていますが、昨年度と同程度の利用件数となっています。また、通所型サービスのうち予防給付型サービスは、計画値と比べて１６件、昨年度と比べて３９件の増加となっています。これは、要介護（要支援）認定者の増加や新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなくなったことによるサービス利用の増加のほか、提供事業所の増加等が要因と考えられます。 ○総合事業を利用する方の介護予防ケアマネジメントについて 昨年度より増加しており、計画値を上回っています。今後も少しずつ増加する見込みです。今後も介護予防に資するケアマネジメントの実施に努めていきます。						

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標4 認知症施策の推進 いきいきプラン21 P59～							
(1) 認知症施策推進事業							
認知症サポーター養成講座 延べ受講者数	9,702人	10,422人	11,088人	11,410人	12,500人	13,620人	14,500人
見守りネットさんようおのだ メール登録者数	1,310人	1,483人	1,599人	1,562人	1,600人	1,660人	1,700人
認知症の家族介護者教室開催	1回	2回	2回	2回	2回	2回	2回
進捗状況 等	○認知症施策推進事業について 認知症サポーター養成講座受講者数は、計画値を下回る見込みですが、小学校や中学校、大学など、学生を対象とした講座を開催することができました。今後も、認知症に関する普及啓発を積極的に行っていきます。見守りネットさんようおのだメール登録者数は概ね計画とおりの見込み、認知症の家族介護者教室も計画とおりの開催となっています。						

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標5 介護(予防)サービスの充実 いきいきプラン21 P61～							
介護サービス事業所に対する実 地指導の年間実施件数	31件	27件	26件	27件	29件	33件	33件
進捗状況 等	○介護サービスの実地指導について 各事業所に3年に1回を目安に実地指導を実施しています。計画値より減少した要因は、令和6年度実施予定の事業所が県指定に切り替わったことと、事業所廃止によるものとなります。						

	実 績			見込み	計 画 値		
	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
基本目標6 介護保険の円滑な運営 いきいきプラン21 P64～							
介護保険料現年度収納率	99.64%	99.64%	99.76%	99%を維持	99%を維持	99%を維持	99%を維持
ケアプラン及び介護サービス提供の 適正化件数(ケアプラン点検件数)	367件	335件	292件	300件	400件	430件	430件
進捗状況 等	○現年度の収納率は99%を超える見込みです。今後も適切な収納管理に努めていきます。 ○自立支援・重度化防止を目的とした適切な介護サービスが提供されるように、今後も継続して実施し資質の向上に努めていきます。						